

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月17日更新

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	産業振興部	課長名 古庄 一也
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	商工振興課	担当者名 末永 潔
	基本事業	90	公有財産の管理運営		所属班	商工・企業誘致班	(内線) 1271
予算科目	会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11284	法令根拠	指定管理者協定書 合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成13年7月西合志町総合ふれあいセンター「ユーパレス弁天」が開館。地方自治法改正に伴い、管理委託制度から指定管理者制度に移行し、第1回目の指定管理者協定を(株)にしこうしと平成18年8月～平成21年9月までの期間で締結した。 ○指定管理者協定書に基づく、総合健康センターの施設維持管理事業。 ○現在の指定管理期間は、平成21年10月～平成24年3月までであり、平成23年度中に、平成24年4月からの指定管理者の更新事務。 ○開館後10年経過し老朽化した施設のリニューアルの検討
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	○施設備品の修理 株にしこうしから対象金額に達する申請に対し内容を審査し該当のある場合のみ施設等の修繕を行う ①にしこうしからの申請、②受付・内容審査、③業者選定・発注、④業務契約、⑤修繕工事実施、⑥検査、⑦支払い ○指定管理者更新事務 管理候補者の募集要項作成→申請受付→候補者選定依頼→管理候補者の決定→管理者指定について議会へ上程 →管理協定内容協議→指定管理に関する協定書締結
【主な予算費目】	委託料、工事請負費、負担金
【意見や要望】	議会からは、次期指定管理候補者の募集は公募が望ましいとの意見がある。 施設開館から丸10年を経過し、建物の老朽化等も顕著になっており、施設のリニューアルが必要である。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
合志市総合健康センター設備改修工事(冷温水発生装置オーバーホール・中央監視盤交換・排煙トップライト交換)	指定管理協定書に基づく施設の修理。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア 修理箇所	件
イ 修理等金額	千円
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」施設利用者	(単位)
	ア 来館者
	千人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
利便性・安全性を確保する	(単位)
	ア 修理済箇所数/要修理箇所数
	%
	イ 苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数
	%
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 指定管理協定書及び修繕要望書に基づく事業実施振分け	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～年度 (期間限定複数年度のみ記載) 0
① 活動指標	ア 件	1	6	3	1	1	1	1	
	イ 千円	798	10,213	15,445	15,047	2,500	2,500	2,500	
② 対象指標	ア 千人	760	712	530	661	530	530	530	
	イ								
③ 成果指標	ア %	60	60	60	60	60	60	60	
	イ %	40	40	40	40	40	40	40	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円					285,000	
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	798	10,213	1,600	17,564	2,535	17,000
	(A) 事業費計	千円	798	10,213	1,600	17,564	2,535	17,000	300,000
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	2,517	2,535	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	3	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	350	550	400	430	400	400	400
	(B)人件費計	千円	1,400	2,189	1,592	1,771	1,648	1,648	1,648
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,198	12,402	3,192	19,335	4,183	18,648	301,648

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 指定管理協定書及び修繕要望書に基づく事業実施振分けを行うことで目標達成の着込みあり
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 指定管理者との連絡調整を頻繁に行い、施設の不備に対する迅速な対応とその裏づけとなる予算の手当てを行うことで、成果の向上は見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 専門的な管理技術が必要であり、直営での管理は難しい
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理協定書で、市が負担する限度額を上げれば市の負担額は削減できる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者と打合せながら業務を進めるため、現在のやり方からの削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 指定管理協定書に基づく事業であり、公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 指定管理協定書に基づく事業であり、役割分担は適正である

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

指定管理協定書に基づいて要望のあった修理等について、当初予算で対応できなかったものが幾つかあったため、補正で対応した。緊急性のあるもの、株にしごうしで対応できるもの等を精査して、前年度の9月には要望書を提出してもらうよう指導した

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 維持管理コストの削減、利用者数のアップ、サービスの向上等を実施し、健全な経営を目指す。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持	○																			
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 従来からのやり方の改善・・・開館以来のやり方にとられず、効率的な方法で運営する。																					